

すくすくみやぎっ子通信

令和4年春号

季節ごとに宮城の旬の野菜、果物をご紹介します！

発行：宮城県農政部

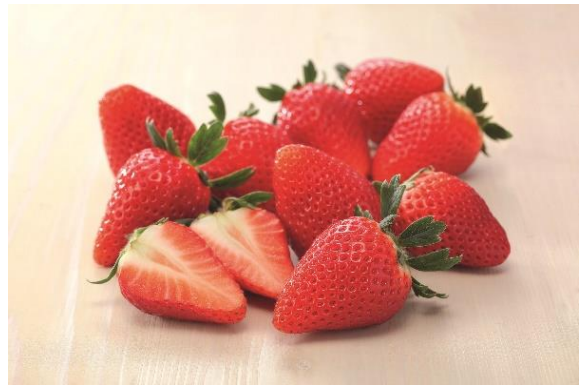
旬の食材

いちご 宮城県は東北一のいちごの産地です！！

全国のいちご作付面積(令和2年産)

	都道府県	作付面積(ha)
1位	栃木	518
2位	福岡	435
3位	熊本	305
11位	宮城	131

農林水産省大臣官房統計部「作況調査(野菜)」



県内の産地



県内のいちご販売数量(令和2年度)

農協名(支所)	数量(t)
JAみやぎ巨理	2,199
JAいしのまき(石巻)	170
JAみやぎ登米(米山)	118

全国農業協同組合連合会宮城県本部青果物販売実績表

歴史

宮城県はいちごが出荷される冬から春に日射量が豊富であり、いちごの栽培に適した気候のため、東北一のいちご産地となっています。昭和初期に養蚕に替わる作物として巨理町吉田地区に導入されたことから始まりました。

現在は、主に仙台や北海道の市場へ出荷され、食材王国みやぎが誇る青果物となっています。



1 宮城県育成新品種

にこにこベリー

令和元年度に本格デビューした新しい品種です。きれいな円錐形で、果実表面だけでなく果肉も鮮やかな赤色であること、糖度・酸度のバランスが良いこと、長い期間収穫できて収量も多いこと、日持ちが良いことなどが特徴です。

県では、いちご産地を盛り上げる新品種として、生産面積の拡大を推進しています。



2 選び方・保存方法

全体に色がついていて、表裏の色むらが少なく、光沢があって、黒ずんでいないもの、へたがピンとしていて、みずみずしく、乾いていないものが新鮮です。日持ちしないので、冷蔵庫で1～2日程度保存する場合は、乾燥を防ぐためにラップかビニールに入れて、洗わずに野菜室で保存します。

先端の方が甘いのでへた側から食べると甘さが強調されます。また、冷たいと甘みを感じにくいので、常温に戻すとよりおいしく食べられます。



3 宮城のいちごづくりカレンダー

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
		苗づくり						定植	→ 収穫			
収穫												

編集後記

「すくすくみやぎっ子通信」第8号、いかがでしたか？今回は宮城県の園芸トップ品目いちごを御紹介しましたが、ほかにも旬を迎えるおいしい農産物はたくさんあります。これからの季節、地元宮城の農産物をたくさん食べて、元気に過ごしましょう！（K）

発行：宮城県 農政部 園芸推進課
 メール：engei-shinko@pref.miyagi.lg.jp
 電話：022（211）2843
 ホームページ
<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/engei/>